

波 紋

1997 3 月 第141号

中高ビ若手会スキー(2/7~9)

—しっかりスキー焼けしてきました—

2月7日~9日の中高ビ若手会スキーに多数の御参加ありがとうございました。

ゆっくりできる一・五泊の露天風呂付で、なるべく安い穴場ということで選んだ野麦峠スキー場ですが、幸い好天と雪量にも恵まれることができました。



若手会とはいっても中年おじさん領域に足を踏み込んでおりますが、気持ちだけは若いつもりでおります。

親睦交流の意味も含めて、こうした機会を楽しみたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

北沢商会
北沢宗一

存分にスキー三昧を堪能することができたのではないのでしょうか。



「私は鈍感か変態か」

私の神経は鈍感なのかと考えさせられる時があります。私が誰かを嫌うとする、しかし、周りの人々は大多数、その人を受け入れ、評価し、愛している。私の嫌悪感はかなり個人的な感性に基づくものと言う事になる。そして、私が好感を持って付き合っている人間の事を、他人に「あなた、あの人とよく付き合っているね、あなた」と言われると考えさせられてしまう。私の心の中で利害関係がより強く働いているのかなと思う時もあるが、自分にはない感性を持っている相手には、非常に興味を持って接近する事が多い。

常に「好き」とか「嫌い」とかの感情だけで決めるのではなく、欠点はあるけど捨てがたい私にない長所を発見すると、すぐ付き合いが始まるのです。そして、我慢出来なくなり別れても、又、同じようなタイプの人と友人になつてしまう事が多い。相手も私の事を少々の事には目をつぶって交際してくれているケースもある事でしょうね。本当に自分の体臭や性格は、本人にはわからないものですね。

森 信之

トシ君の一方通行

世の中で二番目に嫌いなひと

この世で二番目に嫌なことは何と云っても「叱られる」ことであります。そこで、「叱られない」ことはあるのかと夜も寝ずに昼寝して考えた。それはある、我乍ら名案である。それは仕事をせずに、ぶらぶらしていることでもあります。でも、世の中の多くの人は働かずには食えない人が多い。しかも体によくないらしい。となると叱られる覚悟で働くか……いや、そういう悲痛な思いで仕事をすると固くなり、結局益々叱られる。じゃあ叱られるというのを前向きに考えてみよう。素直に、謙虚に……。そうすると、「この人は私の為に叱ってくれるのか……。」とまあこうなり、即反省し新たな気分の仕事が出来る。つまり効率がちがいますわなあ。こういう理屈は分かっているけど、なかなか素直になれないのが凡人でしょうか。まあオイラの場合は優秀な管理職ですから、叱らない、怒鳴るだけですよ。さて凡人の皆さんよ、世の中で一番嫌なことって知っているかね？それは「叱る」ってことよ。一つ真剣に考えてみようよ、叱られるより叱る方が辛いってことさ。だからオイラは辛いことが嫌いだから叱らない、怒鳴るんだわ。従って部下もたたくまい。全然効果がない。今年も森松は粉飾決算か……やれやれ！

木村英利

森松クインテット

心機一転



何かがきっかけになって、望ましい精神状態になること。本年はこの言葉を心におき、行動することに決めております。今年は昨年以上に、社内人事等も変わるような感じですが、今までより必ず良い環境にするべく、私も協力していくつもりであります。(これはくり返し、乗り越えていかなければことでしょう。)

さて私事で、今年こそは築70年の家を建て直したく計画に移りましたが、思った通り話が進まず暗礁に乗りあげた状態になっています。これは70才の親父と私との感覚の違いでありまして、予想外の展開にやけくそになってしまいうような状況です。(情けないけど、頭にくる。) まあ、実現させるのに、かなりの努力(苦勞)が必要という事です。また、先日は嬉しい事もありました。それは、元英語の先生だったジョン・デービスさんが婚約者をつれ、会社に来てくれた事でした。何年が会っておりませんでした、「気に止めていてくれたんだ」と嬉しく思い、話しても盛り上がりました。しかし、後日送られてきたメールを見て、英語を続けていなかった自分をまた反省しなければならなくなりました。これをきっかけに再開をと、一瞬は思いましたが、これだけははっきりいって自信がありませんので、これからどうしようかと思っています。

努力不足だけといわれそうですね……。

山口隆弘

喜怒哀楽

チャリンコ



私は、大阪地区の新規開拓を始めてから約一年半になります。え、実績の方？

まあ、ぼちぼちです。さて私の大阪地区、営業活動の一つとして、自転車(関西ではチャリンコと呼ばれます)があります。そのチャリンコでお客さまへ訪問している訳ですが、これが大変便利なのです。何故ならば交通機関を使つての移動もありますが、渋滞や歩く距離を考えますと場所によっては時間が非常に短縮できるのです。最近では、お客さまからも「今日も、チャリンコでっか？」とも言われるようになりました。私にとつては、ある種のパフォーマンス的な所もありますが……。しかし、雨の日や真夏、真冬は、ちよつと辛いですね。また移動の距離にも限界があります。特に加工屋さんを訪問するにはタイミングとママさが必要ですし、もつと行動半径を広げたく思うようになりました。そこで以前から会社に屋根付バイク(ビザの宅配用でよく見るやつです)を希望しておりましたが、先日、念願の決済がおりました。これで鬼に金棒？看板背負つて、どンドン飛び跳ね回ります。そこで大阪の皆さん、電話一本下さい。30分以内に飛んで行きますから……。

安井浩二

中国出張レポート

「“問題はない”は“問題ある”」

中国でよく聞く言葉で没有问题（メイヨーウエンティ）と言う言葉があります。これは、日本語で問題がありませんとか大丈夫ですよと言う言葉になります。中国で仕事をされた方は、この言葉に対していやな思い出が1度や2度必ずあるはずです。

私は中国に6回出張しまして最初の頃は、没有问题にかなり苦労しました。一番困ったのは、納期でして約1ヶ月遅れた苦い経験があります。それでも、良い商品が届けば満足しなければいけないという事を後の商売で知りました。私が最初に、中国を訪れたのが95年でその時たしか1ドル104～105円だったと思います。（今は、124円ですからとても大変です）最初に訪問したのが上海でしたが人の多さと車の運転の荒っ



ぽさにとても驚きました。その時に中国の勢いを肌で感じた気がしました。それから、広州に行き沿海地区の発展に驚き、合弁先の四川省（成都）で内陸の中国を知り、中国はとても広い国であると感じました。当然の事なんでしょうが、土地が違えばそこに住む人も変わるようです。私の個人的な意見ですが、沿海地区に住む人は、仕事やものがとても豊富で日本とあまり変わりませんが、上海はちょっと危険な感じが感じられます。（おそらく97年7月の香港返還で第二の香港を目指しているのでは）内陸に入りますと本当の中国が見られる感じです。人の多さもさる事ながらお寺の多さに、歴史の深さを感じられます。食べ物も土地によってかなり変わりますが味が深くとても美味しい料理があります。とは言ってもまだ四川省の成都しか行った事ありませんから。97年1月に中国に行った時、上海から汽車で南京に行ったのですが、その時汽車の車掌さんがスチュワーデスの様な制服で車両の中心に立ち、乗客に挨拶する様子を見てビックリしました。（中国の方が進んでいるのはと）最初は、中国語で行き先所要時間の説明があり、それから英語、そして日本語と同じ内容を3ヶ国語で話してくれました。私は、最後に日本語で挨拶された時、とても感動してしまいつい拍手を送ってしまいました。空港でも同じ思いをしました。それは、空港カ



ウンターの女性や荷持ち検査の人が日本語で話掛け、空港内(上海空港)には、日本語のアナウンスが流れていました。96年11月に訪問した時は、そんなに通じなかった日本語がといった感じです。ソフトの部分がたった3ヶ月でかなり変わっている事にビックリしました。これからもこの調子でハード面とソフト面が進歩するととても凄い国になるのではと感じる今日この頃です。

西田聖一

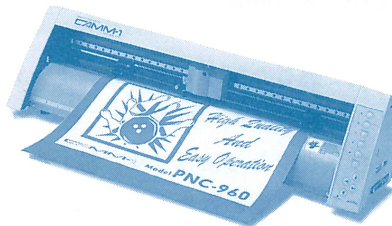
平成9年 3月の社内行事

2月28日(金)	常務吉岡森下 ～
3月12日(水)	アメリカ視察
1日(土)	第一土曜日休み
3日(月)	楊社長(上海) 来社
4日(火)	誕生会 12時 4階
6日(木)	坂井田時子さん誕生日
7日(金)	パソコン教室 18時
14日(土)	「中小企業センター」 14時
8日(土)	第二土曜日休み
12日(水)	成瀬係長誕生日
14日(金)	松井宣和さん誕生日
15日(土)	中国情報交換会
14日(金)	改善会議 15時10分
15日(土)	西田課長誕生日
18日(火)	浅野美香さん誕生日
20日(木)	春分の日
21日(金)	生産会議 17時40分
24日(月)	経営会議 15時10分
27日(木)	営業会議 17時
28日(金)	木村常務誕生日
30日(日)	西口悦史さん誕生日 オレフィン記念日 久保田裕子さん誕生日

新商品及び新設備紹介

「ローランドディー・ジー社カッティングマシン」

2月1日よりローランドディー・ジー社のカッティングマシンを販売することになりました。皆様の周りを見渡しても沢山カッティングマシンを使用したものが見受けられると思います。例えば、お店のウインドウの宣伝文字、また会社内の案内盤その他多くの場所で使用されていると思います。「カッティングマシンで高価じゃないの?」と思っている方も、価格がリーズナブルになりお求めやすくなっています。又、Windows95及びMacintoshで操作することができます。皆様のアイデアしだいでもとても強い味方になることは間違いありません。今回ご紹介する2機種は森松にデモ機を設置いたしましたので一度ご覧下さい。ご要望があれば、ロゴ及びマークのカット販売もいたします。お問い合わせ等は弊社森下又は、西口までご連絡頂ければご説明いたします。

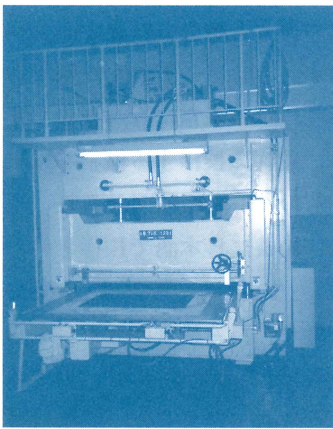


ステカは、
パーソナルな
切り文字ステッカー
製作マシンです。
デザインカッター「ステカ」
modelSTX-7
¥49,800 (税別) ●ケーブル別売

デスクトップサイン・メーカー
PNC-960
標準価格318,000円
(税別) ●ケーブル別売
Windows®95/Windows®3.1
出力用ドライバソフト標準付属

6号機プレス導入

2月15日に新しいプレスが導入されました。スベックは、上盤寸法1600ミリ×1200ミリ・プレス圧120tです。主にPP製品を抜くことになり、これからの商品に強い見方が仲間入りしました。この機械は、森松産業の鳥羽主任が中心に稼働させています。皆様の御利用お待ちしております。



編集後記

今シーズン初めてのスキーに行く事が出来ました。思ったように滑る事が出来、楽しく嬉しい時を過ごせました。

翌日の筋肉痛はとても辛かったです。心身共にリラックスする事が出来ました。スキーの前はなかなか上達しませんが、楽しく滑ることが出来れば積極的にスキーにチャレンジしたいと思います。

3月 まだまだ寒い日が続きますが、自分なりに身体を動かしリフレッシュしてみたいかがでしょうか?

大和田夕美

編集発行者
森松株式会社

編集責任者

森下友博

平成9年3月1日
第141号